



碧南ロータリークラブ週報

第2827回例会 平成29年6月7日(水)

- 会長 榊原 健
- 幹事 新美 惣英
- 会場監督(SAA) 黒田 泰弘

2016-2017 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 杉浦秀延・貝田隆彦・梶川光宏

●齊 唱

国歌「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」

●四つのテスト唱和

●本日のお弁当

大正館

●本日の卓上花

スノーボール、アリュウム（丹頂）

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。先週1週間、職業奉仕活動ご苦労様でございました。来週、私はこの時間帯に所要がありましてお休みをさせていただきますので、こうして皆さん方にご挨拶するのは最後になるかと思えます。何を話そうかと考えましたが、最後なので好きな話をさせていただきます。



榊原 健会長

昔から「名選手必ずしも名監督にあらず」という言葉がありますが、野球においても水原や三原、鶴岡、山本が当時名選手だったかというクエスチョンマークが付くと思います。

野球の世界でもそうですけども、サッカーの世界でもそうです。全日本の歴代監督を見ても、名選手というのはいました。例えば、ブラジルの黄金のカルテットと言われたファルカンやジーコは名監督ではなかったように思います。ファルカンは半年ぐらいでクビになりました。ジーコなんていうのは、中田英寿、稲本潤一、中村俊輔、小野伸二の日本版黄金のカルテットがいたおかげで何にもせずワールドカップに出られました。ではどんな

人が今まで活躍してきたかという点、最初は加茂さんがワールドカップの監督に日本人として就任されたのですが、途中で岡田さんに代わりました。そして、何とかワールドカップに出場できたのですけれども、当時は岡田さんはまだコーチでして、コーチからいきなり昇格し、結果を出されました。南アフリカの大会の時にはベスト 16 まで残りました。ですが、選手としてはそんなに有名ではありませんでした。もっと有名ではなかったのは、日韓ワールドカップの時に監督だったトルシエです。この時に最初に候補に挙がったのは、元グランパスの監督であったベンゲルでした。ベンゲルはまだアーセナルの方に色気がたっぷりあって、その方が高い給料をもらえるので、アーセナルの監督に引き続いた訳ですけれども、その時に推薦したのが同じフランス人のトルシエでした。トルシエはツイておりました。彼はベンゲルの後ろ盾を得ているものですから、JFA は文句が言えません。そして、U-17、U-20、U-23 の監督も全部やりました。ですから、選手を自由に扱えました。そして、彼は鉄の規律を持ってやったので、皆さん方には馴染みの少ない選手も随分日本代表になりました。言う事を聞く人が監督のお気に入りでした。

サッカーの世界では監督に全権を一任されます。選手の選択なども監督の思いのままです。その代わり、成績が悪ければ即クビです。南アフリカ大会の時に岡田さんの給料はいくらだったか忘れてしまいましたが、ブラジルの大会の時のザッケローニの給料は 2 億 1 千万で、ハリルホジッチは当時ナイジェリアの監督でして、1 億円だそうです。

今からハリルホジッチがどんな成績を残すかというのは、我々にとっては大きな話題であります。今日、シリアとの練習試合をやりましますけれども、この後イランとワールドカップ予選をやりまします。そこで勝つと上位 2 チームに残ることができて、ロシアのワールドカップに出場できる訳です。そんな厳しい戦いをしているワールドカップなのですけれども、FIFA の方では出場数を増やそうという運動があります。これはなぜかという点、今は興行収入よりもテレビとかの収入の方が多くなるので、たくさんやった方が儲かるというようなことだそうです。そうするとちょっとした成績でも残ってしまう可能性があり、あまり面白くないなと思います。厳しければ厳しいほど選手もやりがいがあるでしょうし、その国の代表になったという誇りもできてくると思います。ですから、私は大反対です。

こうして 1 年間皆さん方の前でたわいもない話をさせて頂いておりますけれども、次の会長さんからはたわいもない話ではないようなお話をさせて頂きたいかなと思いつつ、終わりにさせて頂きます。

クイズですけれども、次期会長はどなたでしょうか。というものを出したいと思つております。次期会長から答えて頂きたいなと思つております。

ありがとうございました。

幹 事 報 告

幹事報告をさせて頂きます。

- ・ 他クラブの例会変更等はございません。
- ・ 先週の土日の名誉会員の禰亘田市長様のお母様の通夜葬儀には、多くの方のご参列を頂きましてありがとうございました。



新美惣英幹事

した。また、親睦活動委員会の岡島委員長をはじめ、委員の皆様にはお手伝いを頂きまして、誠にありがとうございました。

- ・ 本日は 201 号室にて理事会を開催致しますので、理事、役員の方は例会終了後にお集まり頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 70 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 9 名)出席者 56 名	
出席対象者 56/62 名	出席率 90.32%
欠席者 14 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※十週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 植松 敏樹君 皆様の浄財で成り立っています日本赤十字社の愛知県支部、八事日赤、中村日赤病院などすべての施設の監査が無事終わりました。ありがとうございました。
- 木村 徳雄君 消防団関係のメンバー方々、操法大会おつかれ様でした。県大会 8 月 5 日です。よろしくお願い致します。
- 奥田 雪雄君 先日は、服部弘史さんには大変御迷惑をおかけしました。ありがとうございました。
- 鶴田 光久君 碧南市鉄工会会長の職が終了しました。
- 清澤 聡之君 昨日 6 月 6 日、浜風臘扇忌法要が遠近より参集し、150 人という大人数で厳修できました。ありがとうございました。
昨日、大正館様に大変お世話になり、ありがとうございました。
- 長田 和徳君 6 月 1 日で 56 才になりました。昔なら定年退職です。先輩がたを見ならい、バリバリガンバります。
- 黒田 泰弘君 先週、水曜日に碧南・高浜防犯協会連合会の総会が無事終了しました。関係の皆様には心よりお礼申し上げます。アフターで、長田豊治さんと楽しい一時を過ごしました。
- 鈴木 宏枝君 主人、鈴木閑の一年祭を内々にて無事すませました。この一年、色々ありがとうございました。これからはマイペースにもどり、人生を終わらせたいと願っております。よろしくお願い致します。
- 岡島 晋一君 本日、碧南の醸造の歴史について話させて頂きます。よろしくお願い致します。
- 石川 鋼逸君 先日は、碧南市消防操法大会に榊原会長を始め、多くの皆様にご出席頂き誠にありがとうございました。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

1日 長田 和徳君 6日 田畑 慎也君 11日 鈴木 泰博君
16日 山口日出子君 29日 岡本 彰人君

奥様誕生日

17日 小林 尚君の奥様 みゆき様 27日 岡本 彰人君の奥様 佳美様

結婚記念日

4日 杉浦 栄次君・ちづる様 28年 7日 新美 真司君・琢美様 31年

入会記念日

16日 林 俊行君

卓 話

「碧南とその周辺の醸造文化について」

会員 岡島晋一君



岡島晋一君

本日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。碧南ならびにその周辺の醸造文化についての話をさせて頂くことになりました、メンバーの岡島でございます。時間があまりなく、自分の悪い癖で端折って早口になり、お聞き取りにくくなることもございますが、なるべく皆さんにわかりやすくお話をさせて頂ければと思います。

しょうゆについてですが、平成21年の出荷量は867,935klでした。その内訳で醸造方式では、本醸造方式が736,876kl(84.9%)、混合醸造方式5,208kl(0.6%)、混合方式125,851kl(14.5%)となっております。種類では、こいくちしょうゆ732,537kl(84.4%)、うすくちしょうゆ102,492kl(12.5%)、たまりしょうゆ12,151kl(1.4%)、さいしこみしょうゆ8,679kl(1.0%)、しろしょうゆ6,076kl(0.7%)となっております。平成28年の出荷量は約770,000klで15年前より半減しております。みそとしょうゆに関しては、昭和50年代から毎年2%ずつ出荷量が下がってきているということで、業界としては非常に危機感を持っておりました。その当時は、2,000,000klを切ったら大変なことになると言われておりましたが、そんなのは軽々と超えました。食品の中で極めて顕著な形で減少しているというのが我々の産業で、悲しいですが現実であるという状況でございます。

碧南の醸造の始まりについてですが、寛永元年(1624年)に回船問屋をしていた角谷藤左衛門さんの分家の角谷津助さんがみそ・たまり醸造を始めたのが始まりと言われております。その後、延宝元年(1673年)に中根又左衛門さんが酒、安永元年(1772年)に石川八郎右衛門さんがみりんの製造を始めて以来、この地方に醸造業が盛んになっていったと言われております。

なぜ碧南周辺で醸造業が盛んになったか

1. 温暖な気候に恵まれている
2. 原料が豊富にあった（米、大豆、小麦、酒粕、塩等）
3. 良質な水に恵まれた → 大浜、棚尾の宮水（硬水の地下水）
4. 海運の発達 → 大浜湊、鷺塚湊から江戸への回船が結びついて原料や商品の運搬に便利だった（当時のルート 大浜→鳥羽→下田で検査→江戸早くて3日、風が悪いと2週間くらい）
回船業、塩田経営、庄屋を行っていたところが醸造業を始めるケースが多い
5. 穏やかな統治、戦乱地にならなかった

碧南周辺の醸造業の特色

- ・ 様々な醸造の形で残っているものが多い（醸造が盛んなエリアでこれだけ様々な種類の醸造業が残っているものも珍しい）
- ・ 色の濃い醸造品から色の薄い醸造品まで種類が様々（豆味噌、溜醤油→白醤油、白だし、味醂、清酒）

醸造業の今後の展望、課題

- ・ 後継者問題、従業員の高齢化
- ・ 少子高齢化への対応 → 従来型の作業からの移行、斬新な商品開発、海外展開
- ・ 味噌、醤油、味醂の一般家庭での使用頻度を上げてもらうための商品案内
- ・ 環境変化への対応

今、老舗というのがどんどん廃業されて辞められる時代になってきております。古いから長く続くという保証は全くありません。商品開発をして、いかに時代にフィットしていくかということを求められていると思います。

大変駆け足になりましたが碧南周辺の醸造の歴史についてお話をさせて頂きました。拙い話で大変申し訳ございませんでした。

どうもありがとうございました。

次回例会案内

平成29年6月21日（水）

最終例会「役員挨拶」